

2025年5月発行

関西大学大学院
博士課程前期課程
博士課程後期課程

入学試験問題集

人間健康研究科

関西大学大学院

目 次

2025年度

博士課程前期課程

一 般 入 学 試 験

〔専門科目〕 2

〔英 語〕 5

外国人留学生入学試験

〔専門科目〕 8

博士課程後期課程

一 般 入 学 試 験

〔英 語〕12

社 会 人 入 学 試 験

〔専門科目〕14

※出願のあった入試種別・科目のみ掲載しています。(欠席・免除等により受験のなかった科目を除きます。)

著作権の都合上、掲載していない入学試験問題については、窓口にて閲覧することができます。
詳細は、関西大学大学院入試情報サイトでご確認ください。

2025年度

M

(7 月募集)
(一般)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

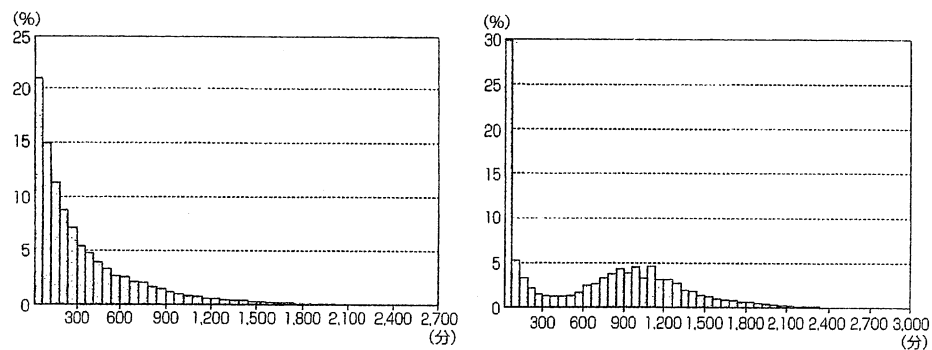
科 目	専門科目
-----	------

次の2つの設問に答えなさい。

設問 1

下図は、学校の授業以外での運動実施時間について、小学5年生（左図）および中学2年生女子（右図）の1週間の総運動時間の分布を示したものである。

小学5年生の結果を基準として比較した場合、中学2年生の結果の問題点を複数個挙げ、その原因や社会的背景について考察するとともに、それぞれの問題点に対する改善案について論述せよ。



（出典：浅見俊雄ほか（2015）子どもの遊び・運動・スポーツ，初版，p19 を出題のため一部改変）

設問 2

パラリンピックが社会のダイバーシティ&インクルージョン(D & I; 多様性と包括・受容)推進に及ぼす影響について論述せよ。

M

(2月募集)
(一般)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	専門科目 1/2
----	----------

問 以下の3つのグラフは障がい者の運動・スポーツ実施に関するデータを示したものである。
これらより、①それぞれから分かることと考えられること、また、それらを基に障がい者の運動・スポーツ実施率を高めるためには、②どのようなことを推進することが望ましいか、答えなさい。

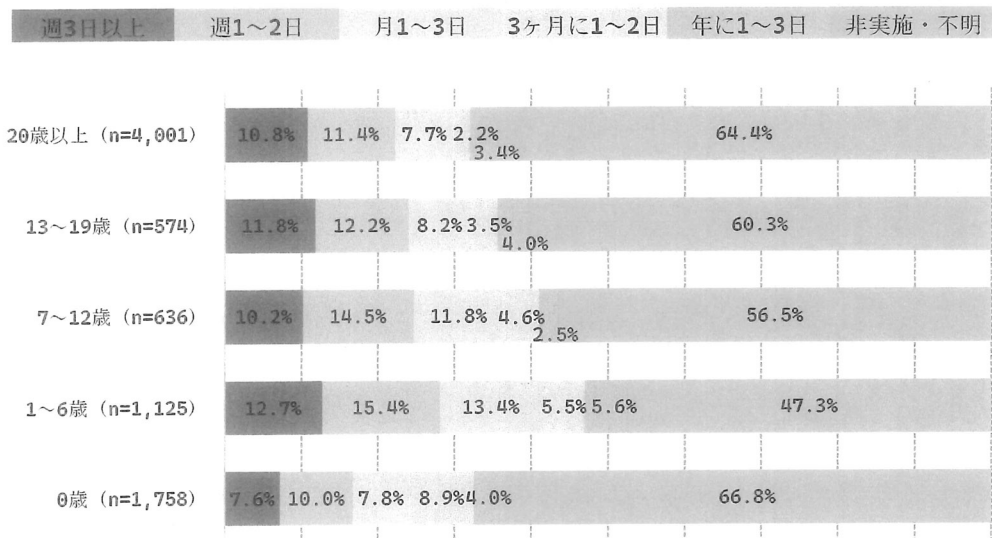


図1. 障がいが発生した年齢別にみた運動・スポーツ実施頻度

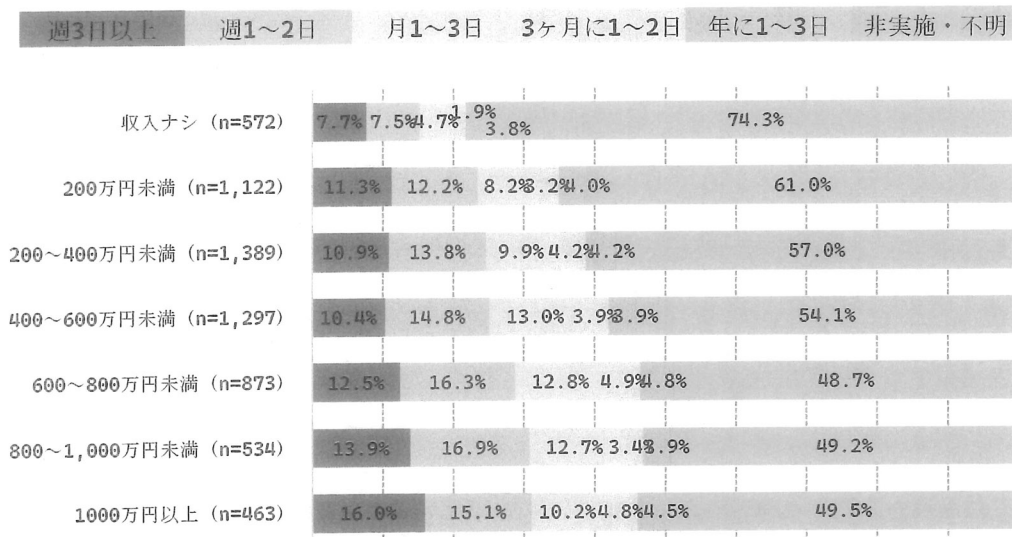


図2. 世帯年収別にみた障がい者の運動・スポーツ実施頻度

M

(2月募集)
(一般)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	専門科目 2/2
----	----------

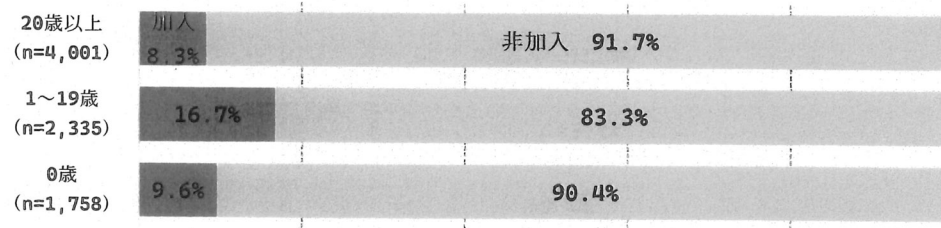


図3. 障がいの発生年齢別にみたスポーツクラブ加入率

出典：笹川スポーツ財団「地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究）」報告書（2018）より出題者が作成・一部改訂

M

(7 月募集)
(一般)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	英語 $\frac{1}{2}$
----	------------------

問題Ⅰ 以下の文章を日本語で200字程度に要約しなさい。

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

注： biopsychosocially 生物心理社会的に morbidity 罹患率 asthma 喘息
vectors 媒介昆虫 ticks マダニ vulnerable 傷つきやすい
exacerbating 悪化させる

出典 Aterah Z. Nusrat, MSc, DIC, Iman Majd, MD, MS, EAMP/LAc, and Peter M.
Wayne, PhD.(2019) Integrative Medicine Is a Good Prescription for Patients and
Planet, THE JOURNAL OF ALTERNATIVE AND COMPLEMENTARY MEDICINE.
Volume 25, Number 12, pp. 1151-1155.

M

(7月募集)
(一般)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	英語 2/2
----	--------

問題Ⅱ 次の英文を日本語に訳しなさい。(但し、引用文献の記載は省略すること)

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

出典 Taija Nöjd, Sirpa Kannasoja, Petteri Niemi, Satu Ranta-Tyrkkö & Kati Närhi
(07 Sep 2023): Social welfare professionals' views on addressing environmental issues
in social work in Finland, Nordic Social Work Research,

M

(7 月募集)
(留学生)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

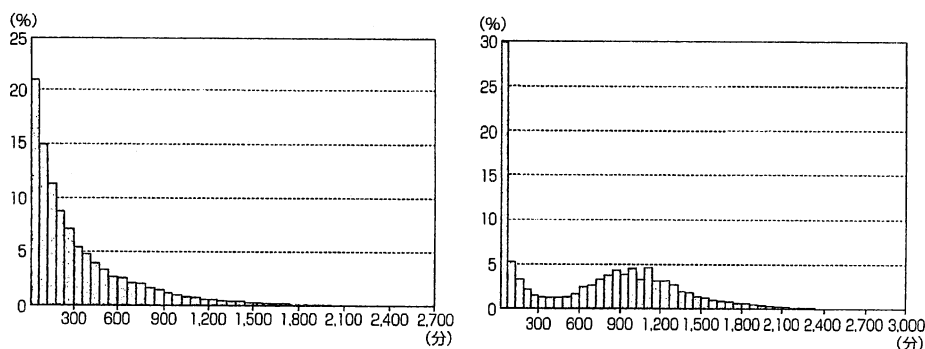
科 目	専門科目
-----	------

次の2つの設問に答えなさい。

設問 1

下図は、学校の授業以外での運動実施時間について、小学 5 年生（左図）および中学 2 年生女子（右図）の 1 週間の総運動時間の分布を示したものである。

小学 5 年生の結果を基準として比較した場合、中学 2 年生の結果の問題点を複数個挙げ、その原因や社会的背景について考察するとともに、それぞれの問題点に対する改善案について論述せよ。



（出典：浅見俊雄ほか（2015）子どもの遊び・運動・スポーツ，初版，p19 を出題のため一部改変）

設問 2

パラリンピックが社会のダイバーシティ&インクルージョン(D & I: 多様性と包括・受容)推進に及ぼす影響について論述せよ。

M

(10月募集)
(留学生)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	専門科目 $\frac{1}{2}$
----	--------------------

問題

以下の三つの図は、清水紀宏『子どものスポーツ格差』（2021年、大修館書店）20頁に掲載された日本の小学生のスポーツ参加とその保護者の状況に関するデータを一部修正して示したものである。これらの図からどういうことが読み取れるか、日本社会に関するその他の知識も参照しながら答えなさい。

また、これらの図から読み取れることを前提として、これからの日本の子どものスポーツ参加について、各家庭で行うべきこと、国や自治体が行うべきこと、学校が行うべきこと等について、あなたが考えるところを述べなさい。

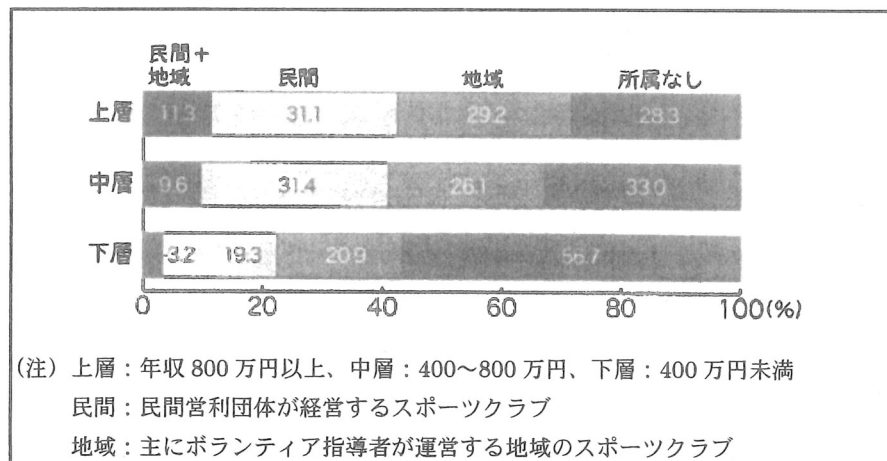


図1 保護者の年収と子どものスポーツクラブ所属との関係

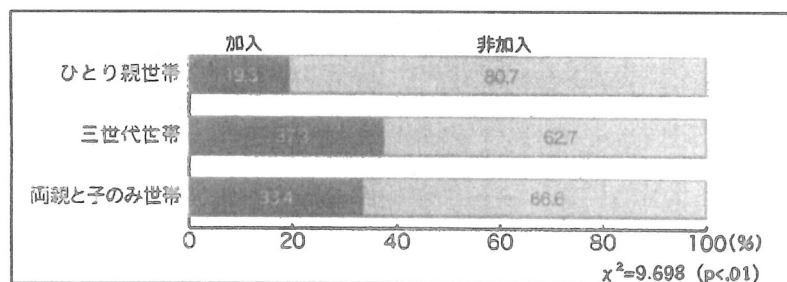


図2 家庭形態と子どもの民間スポーツクラブ所属との関係

M

(10 月募集)
(留学生)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	専門科目 $2/2$
----	------------

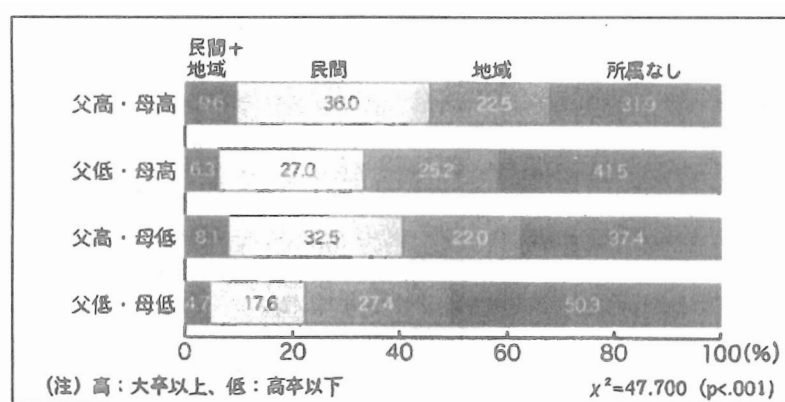


図3 保護者の学歴と子どものスポーツクラブ所属との関係

M

(2月募集)
(留学生)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	専門科目 1/2
----	----------

問 以下の3つのグラフは障がい者の運動・スポーツ実施に関するデータを示したものである。

これらより、①それぞれから分かることと考えられること、また、それらを基に障がい者の運動・スポーツ実施率を高めるためには、②どのようなことを推進することが望ましいか、答えなさい。

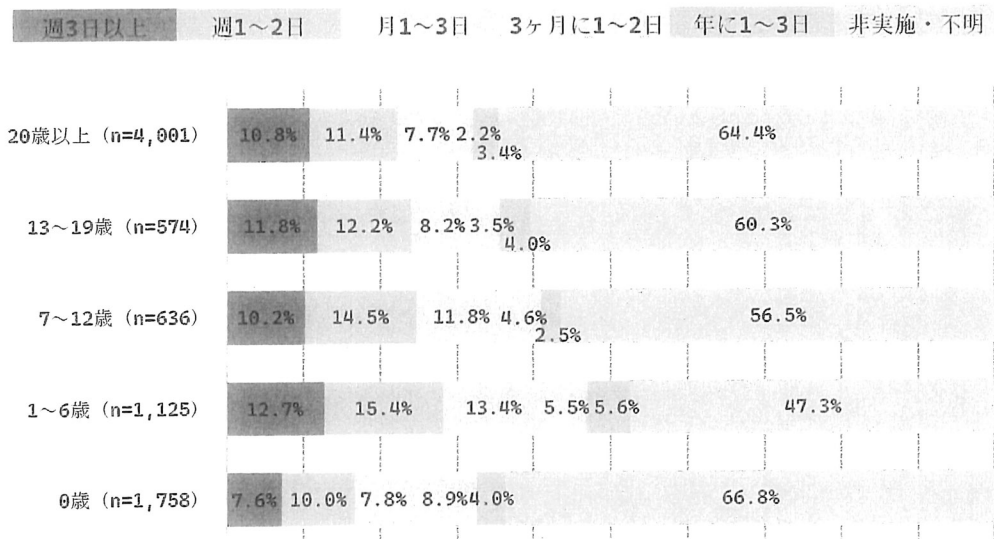


図1. 障がいが発生した年齢別にみた運動・スポーツ実施頻度

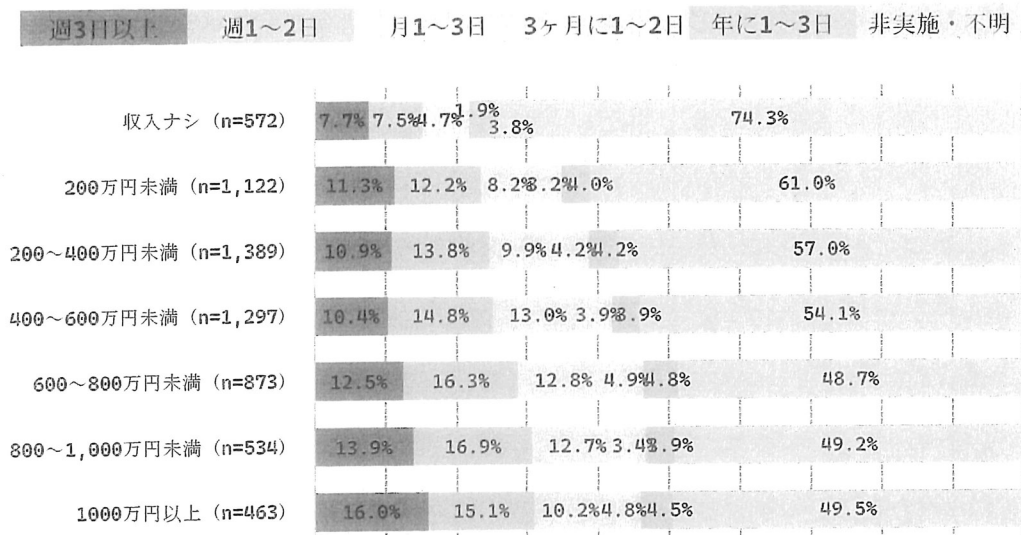


図2. 世帯年収別にみた障がい者の運動・スポーツ実施頻度

M

(2月募集)
(留学生)

関西大学大学院入学試験問題

博士課程前期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	専門科目 2/2
----	----------

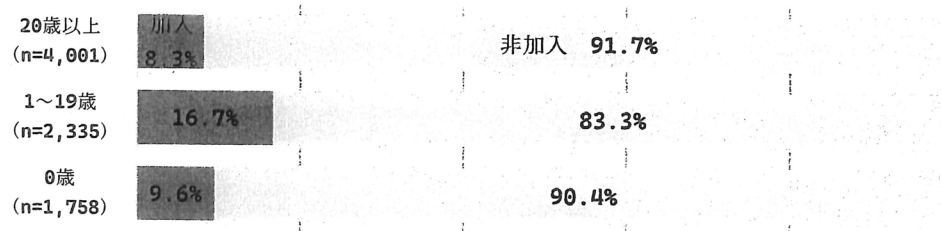


図3. 障がいの発生年齢別にみたスポーツクラブ加入率

出典：笹川スポーツ財団「地域における障害者スポーツ普及促進事業（障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究）」報告書（2018）より出題者が作成・一部改訂

D

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
(一般)

博士課程後期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	英語 1/2
----	--------

「著作権許諾の関係上、問題の文章は掲載しておりません。」

D

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
(一般)

博士課程後期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	英語 2 / 2
----	----------

(出典) Bailey, R.: Physical Education and Sport in Schools: A Review of Benefits and Outcomes. Journal of school health, 76(8), 397-401, 2006. 出題のため一部改変。

問1.

第1および第2段落を全訳しなさい。

問2.

この記事では、体育とスポーツの区別についてどう記載されているか、日本語で説明しなさい。

D

関西大学大学院入学試験問題

(10 月募集)
(社会人)

博士課程後期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科 目	専門科目
-----	------

問題 日本の社会的養護の現状を改善するために必要な対応、政策、実践の改善について、
あなたの考えを述べなさい。

以 上

D

関西大学大学院入学試験問題

(2月募集)
(社会人)

博士課程後期課程	人間健康	研究科	人間健康	専攻
----------	------	-----	------	----

科目	専門科目
----	------

以下の文章は、ユニセフが刊行した『子どもの権利とスポーツの原則』における、「スポーツ団体とスポーツに関わる教育機関、スポーツ指導者に期待されること」からの引用である。ここで示された6つの方針をふまえ、教育行政が部活動や地域スポーツクラブにおいて取り組むべき課題を、具体的に解説しなさい。

- ① 子どもの権利の尊重と推進にコミットする
- ② スポーツを通じた子どものバランスのとれた成長に配慮する
- ③ 子どもをスポーツに関係したリスクから保護する
- ④ 子どもの健康を守る
- ⑤ 子どもの権利を守るためのガバナンス体制を整備する
- ⑥ 子どもに関わるおとなの理解とエンゲージメント（対話）を推進する

出典 公益財団法人 日本ユニセフ協会 「子どもの権利とスポーツの原則」起草委員会編『その指導、子どものため？おとなのため？ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」実践のヒント』明石書店、2020年、124頁)

問題は以上です。

関西大学大学院

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1121 (大代表)